



今野 國夫 議員

# Q 葛巻病院の経営状況は

## A 赤字解消に一般会計から7,000万円 一部老健施設化や効率的な病床数に

**議員** 医療行政を取り巻く状況は、年々厳しさを増し、不採算部門を抱える自治体病院は特に経営難を余儀なくされている状況です。

葛巻病院も、厳しい現状に加え、最近では外来、入院患者は減少の一途を示し、経営が悪化しています。これまでも、経営改善に向けて検討委員会、経営審議会や院内部での検討を重ね、現在に至っています。

現在のベット数は、一般病床60床、療養型病床18床の合計78床ですが、今年度後半には一般病床の稼働率が60%程度です。入院患者の負担を考えると、患者の増は当分望めそうにない状態です。

地域医療を守る町立病院だけに、町民、行政、病院が一体となって危機感を強め、取り組むことが不可欠です。

今後の町財政を左右する最重要課題として、次の3点を伺います。

- ① 18年度の決算見込額について
- ② 第5次病院経営計画最終年度の実績について
- ③ 病床数の減少について

度にスタートし、18年度が最終年度です。国、町が3分の1ずつを支援する一方、病院内部でも、人件費削減、病床数の変更、業務の外部委託など、経費削減と収入確保に努めました。

しかし、18年度当初から外来患者、入院患者が共に減少し、前年より収益は10%減少し、純損益約4千500万円の赤字決算となることから、不良債務解消のために、約7千万円を一般会計から特別繰り入れを行うこととしました。

町としては、まず計画を達成させた上で、今後のあり方を病院検討委員会や病院経営審議会の意向を踏まえ、検討する考えです。

③ 15年度の日当たり50・5人、利用率にして84・2%を最高に、その後は平均利用率78・5%で推移しています。病床数の適正化は、国からも検討事項として指導を受けています。

一方、葛巻病院は、救急指定病院として、これに向けた待機病床の確保が条件となっており、今後の利用状況の見通しや、介護療養病床の廃止に伴う老人保健施設への転換などを勘案し、50床程度を視野に、効率的な病床の利用を図ります。



一段と厳しい再建が迫る葛巻病院

# Q 病院経営の今後のあり方は

## A 19年度からの中期計画で収支の均衡を図る



姉帯 春治 議員

**議員** 病院経営について、次の4点を伺います。

- ① 経営健全化5か年計画の実績について
- ② 医療費未収金の回収状況について

③ 経営上の問題点と改善策について

り、目標を設定して回収に努めています。19年度からは土、日などの休診日にも会計できる事務体制を整えるなど、未収金の回収を進めます。

**町長** ① 14年度からスタートした経営健全化計画は、18年度が最終年度となっています。この計画の最大の目標は、約2億2千万円の不良債務を解消することでしたが、17年度の実績において、目標を下回り、最終年度に2千500万円が持ち越されました。この金額は、おおむね解消できる見込みでしたが、18年度において入院、外来患者が減少し、診療収入が約10%落ち込んだために、4千500万円の赤字決算になる見込みとなり、約7千万円の繰り入れを行うことになりました。

② 18年度当初における医療費未収金は約2千100万円で、町の未収金徴収対策委員会と連携を取

③ 最大の課題は医師の確保で、現在3人の常勤医師と医大、中央病院等の応援医師で診療に当たっていますが、標準数を満たしていません。医師確保や介護療養病床から老健施設への転換、看護配置の見直しによる入院基本料の変更などを進めることが重要です。

④ 中期計画では、先に述べた改革を速やかに進めながら、病院の自助努力によって収支の均衡を図ります。

### Q 町内児童館の今後の運営は

**議員** 児童館の現在の運営状況

と、少子化に伴う今後のあり方について伺います。

## A 児童数減少著しく 冬部は20年に統合

**町長** 現在、冬部と吉ヶ沢に児童館を設置しており、いずれも社会福祉協議会を指定管理者として運営しています。

冬部児童館は、19年度には3人から5人の利用者を見込んでおり、吉ヶ沢児童館は、8人程度を見込んでいますが、少子化が著しく進行しており、極めて厳しい運営状況になっています。

特に冬部児童館は、利用者数大幅に減少することから、保護者や地域と懇談会を開催し、20年度に葛巻保育園と統合することに向けて話し合いを進める考えです。



クリスマス会でハンドベル演奏